

# 「ひょうご」経済

■経済部

TEL 078-136217094  
FAX 078-136015511  
e-mail keizai@kobe-np.co.jp

## 2014衆院選

### アベノミクス その実像

▷2◁

「安倍首相は「女性の活躍推進」を成長戦略に掲げた。

「5人の女性閣僚のうち2人が辞任するという残念な結果になったが、政策決定の場に女性が入ったこと自体は評価できる。(企業に女性登用の行動計画策定などを義務づけた)女性活躍推進法案は廃案になったものの、『女性政策を進めてくれそう』と見える形を示した。ただ内容は目新しくない」

「例えば女性管理職の数値目標は、国が2010年に決めた第3次男女共同参画基本計画に盛り込まれている。安倍首相はそれを分かりやすく示しただけ」

## 女性活躍推進の評価は？

コンサルタント会社経営  
森野 和子さん (52)



もりの・かずこ ライフキャリアデザイン・アソシエイツ(尼崎市)代表取締役。関西学院大卒。会社勤務などを経て2003年から現職。ひょうご仕事と生活センター外部相談員も務める。

## 男性の働き方から変革を

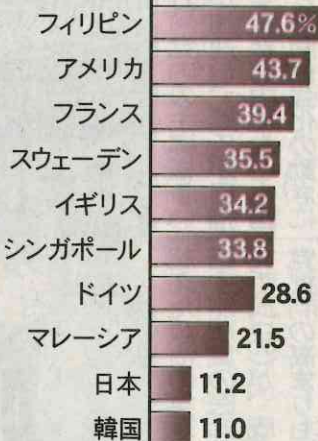
「当社は兵庫県内の企業などに人材育成の研修をしてきたが、10年ほど前から社員のワークライフバランス(仕事と生活の調和)を図ろうと取り組んできた。中小企業も柔軟に対応しつつある。そうしないと人材が集まらないうと都合よく働かせよ」というのはワーク

「日本女性の就労率は先進他国とあまり変わらないが、管理職の割合が低い。しかも日本では働く女性の6割近くは非正規雇用だ。」「安倍政権が掲げた『女性の輝く社会』も、依然として女性を安い働き手として使っているように映る。現状だと女性は家事や育児、介護といった家庭の役割を担ったまま働ける。現状だと女性には何が必要か。」「男女が共に「輝く」には何が必要か。」「長時間労働や仕事を最優先することが評価されがちだが、風土を変えないといけない。過労死する男性と、子育てなどで働けない女性は表裏一体の存在。人口が減る中、女性に限らず勤務時間に制約のある労働者の活躍推進は不可欠だ。育児や介護などライフステージに応じ、仕事と生活の比重の置き方を労働者自ら選んでいく職場づくりが重要になる」

(聞き手・石沢菜々子)

まらない。流れとしては良いが、本来に必要なのは男性の働き方を変えることだ。安倍首相にも企業にもその視点が弱い」

### 女性管理職の割合 (2014年版男女共同参画白書)



うとして映る。現状だと女性には何が必要か。」「男女が共に「輝く」には何が必要か。」「長時間労働や仕事を最優先することが評価されがちだが、風土を変えないといけない。過労死する男性と、子育てなどで働けない女性は表裏一体の存在。人口が減る中、女性に限らず勤務時間に制約のある労働者の活躍推進は不可欠だ。育児や介護などライフステージに応じ、仕事と生活の比重の置き方を労働者自ら選んでいく職場づくりが重要になる」